

3つの原理で
理の研究キーワード
を再構成する

三大起源
3つの世界
三界
三学
三観
六理
三大研究
3つのハードプロブレム

01 三大起源

三大起源は、①物質の起源、
②生命の起源、③意識の起源である。

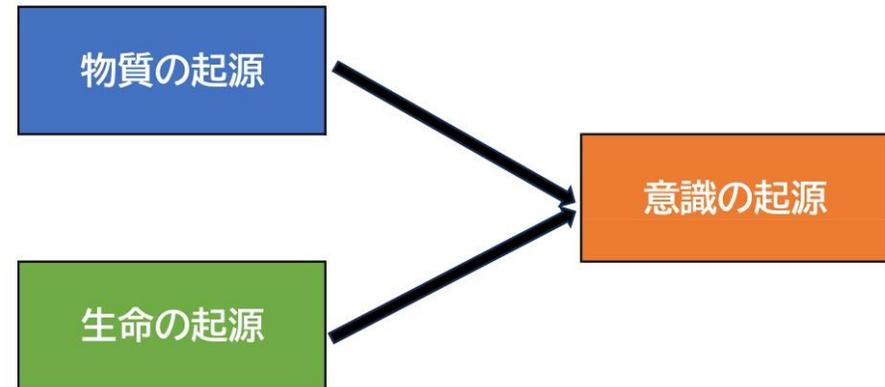
三大起源の関係は「1つ、1つ」の原理では
右上図のようになるが、「2つ、1つ」の構成法
を使うと右下図のようになる。

①物質（正）、②生命（反）の舞台が整い、
③意識（合）において、①、②を認識する構図
である。

三大起源(1つ、1つ)



三大起源

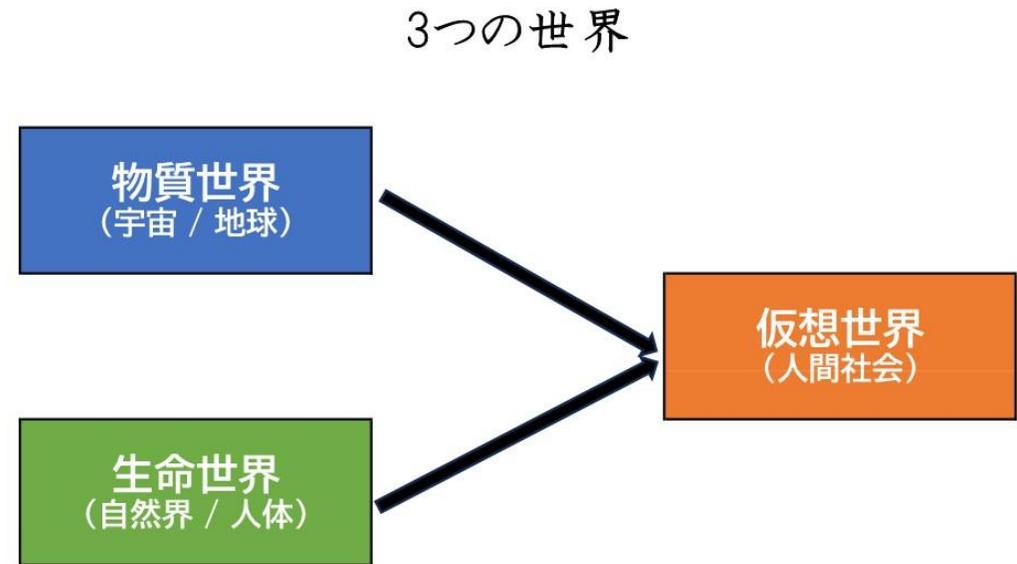


02 3つの世界

3つの世界は、

- ①物質世界（宇宙 / 地球）、
- ②生命世界（自然界 / 人体）、
- ③仮想世界（人間社会）である。

物質世界である「宇宙/地球」の環境が整い、
生命世界である「自然界/人体」が出来上がる。
そして、意識が共有されて仮想世界としての人間社会
が形成されていく構図である。



03 三界

三界は、①外界、②内界、③両界をさす。

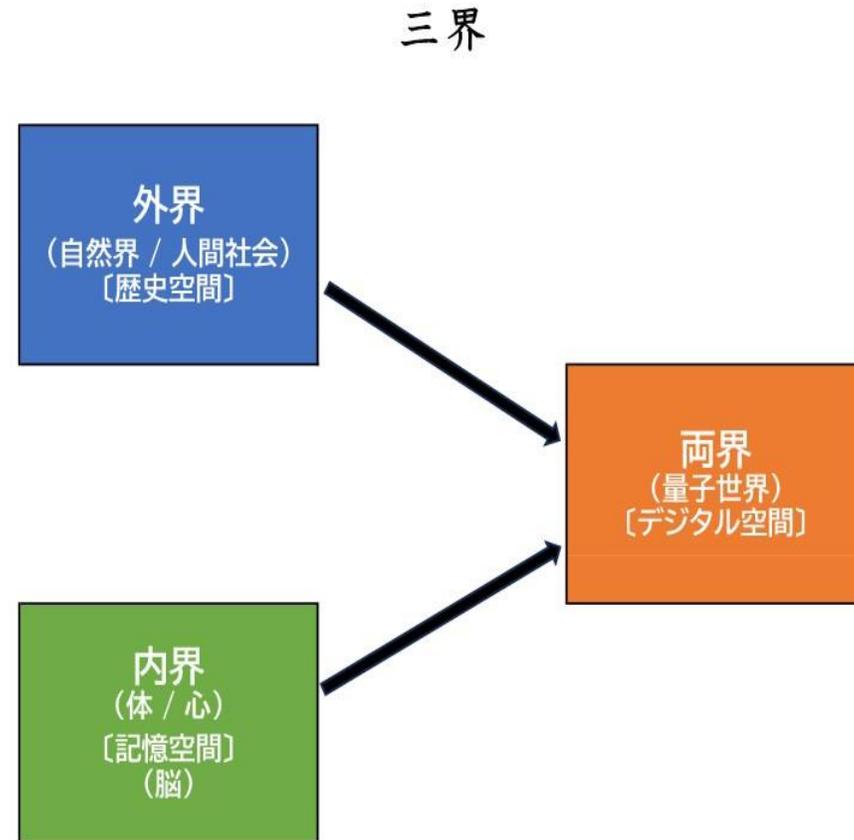
外界は「自然界」「人間社会」
「歴史空間」で構成される。

内界は「体」「脳」「心」で構成され、
記憶空間をもつ。

両界は「量子世界」である。

外界と内界は量子世界の上に形成されて
いる。このことから量子世界を両界と呼ぶ。
外界と内界は量子的やり取りにより両界と
つながっている。

人間は、量子である電子、光子を使った
デジタル空間を作り出した。



04 三学

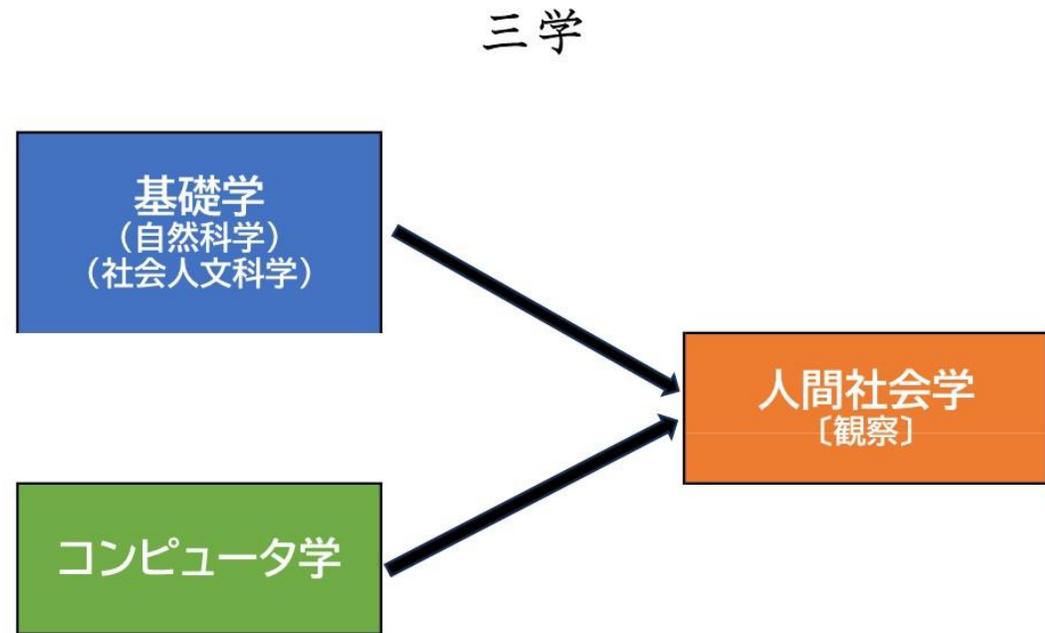
三学は3つの学びのことで、

- ①基礎学、②コンピュータ学、
③人間社会学をさす。

基礎学は「自然科学」「社会人文科学」である。人類が明らかにしてきた科学的知識をつけることか基礎学の目標である。

コンピュータ学は、コンピュータの最新知識を学び、コンピュータ力をつけることが目標である。

人間社会学は、基礎学とコンピュータ学を土台にして、観察によって現実である人間社会を知ることが目標である。



05 三観

三観は、

①世界観、②人間観、③人生観
の3つの観をさす。

世界観は、

- ・世界はどうなっているのか
- ・世界をどうみるか

である。人間観は、

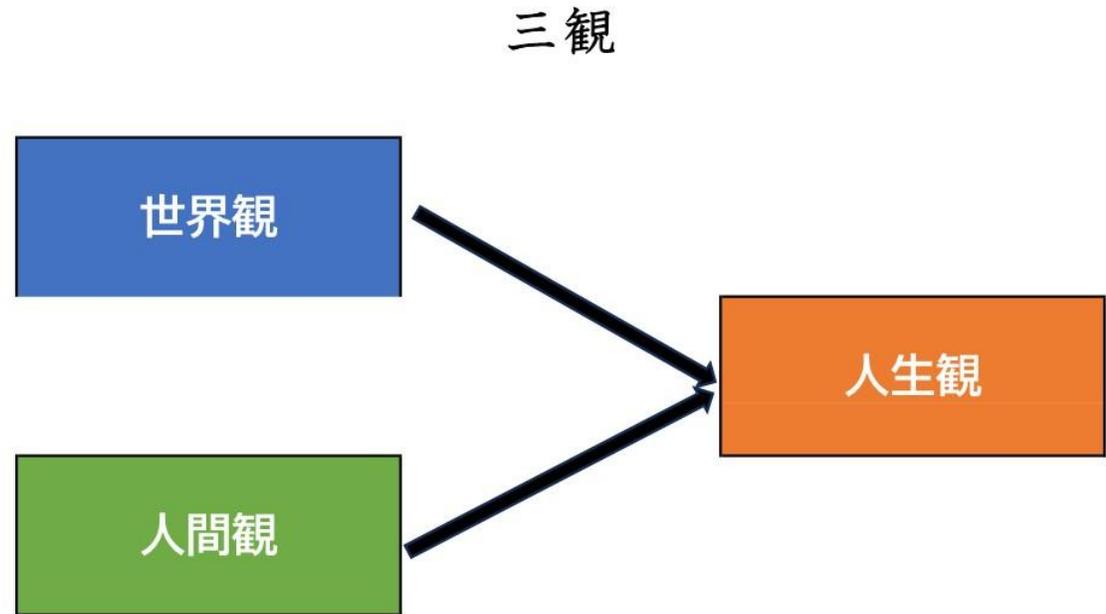
- ・人間はどうなっているか
- ・人間をどうみるか

である。人生観は、

世界観と人間観に基づいて

- ・どう生きるか

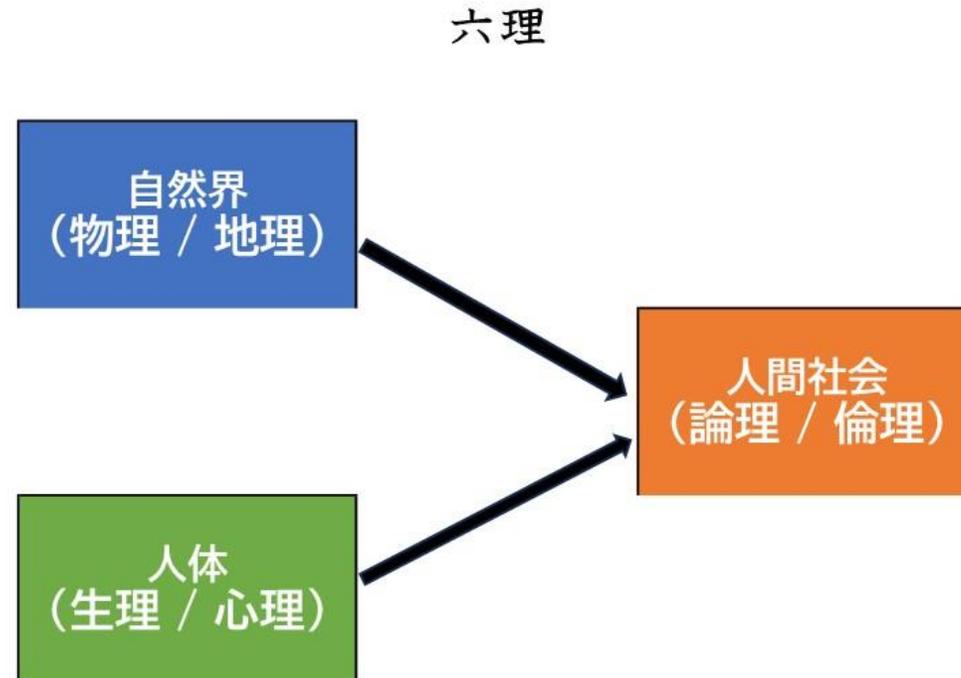
である。



06 六理

六理は、

- ① 〔自然界〕の物理／地理、
 - ② 〔人体〕の生理／心理、
 - ③ 〔人間社会〕の論理／倫理
- をさす。



07 三大研究

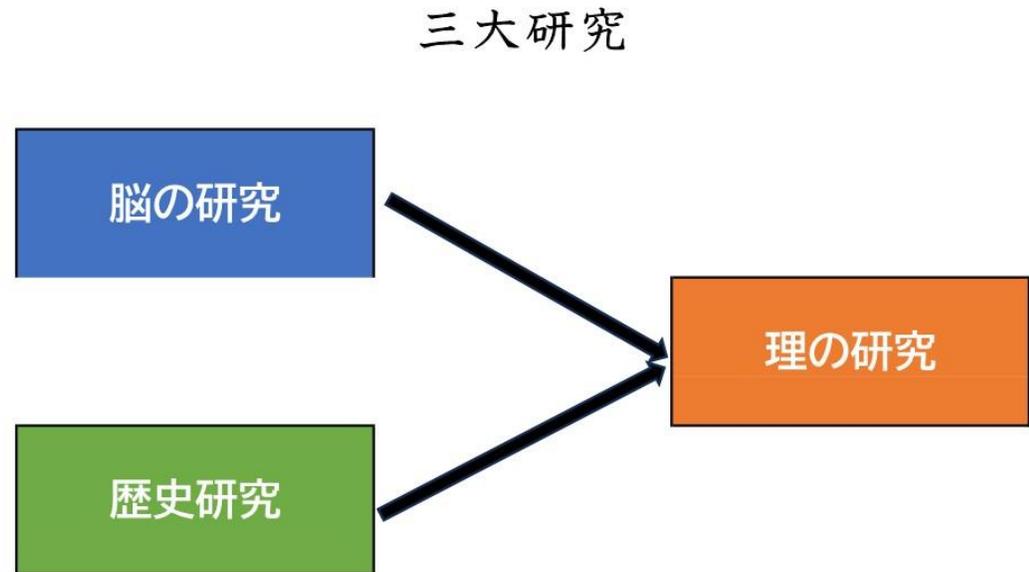
三大研究は、

①脳の研究、②歴史研究、③理の研究
をさす。

三大研究に「2つ、1つ」の構成法を
導入して、

「脳の研究」（正）と「歴史研究」（反）
から（合）としての「理の研究」とした。

このことから「理の研究」は、
世界観、人間観をもとに
「どう生きるか」（人生観）を探究する方向性が
自然な形で導かれる。



08 3つのハードプロブレム

哲学において、「心の問題」はハードプロブレムと呼ばれる。

「理の研究」において、

- ①クラウド〔デジタル空間〕、
- ②心〔記憶空間〕、
- ③人間社会〔歴史空間〕

を3つのハードプロブレムと呼ぶ。

レベルは、①→②→③の順番に難解（ハードプロブレム）であると考えている。

3つのハードプロブレム

